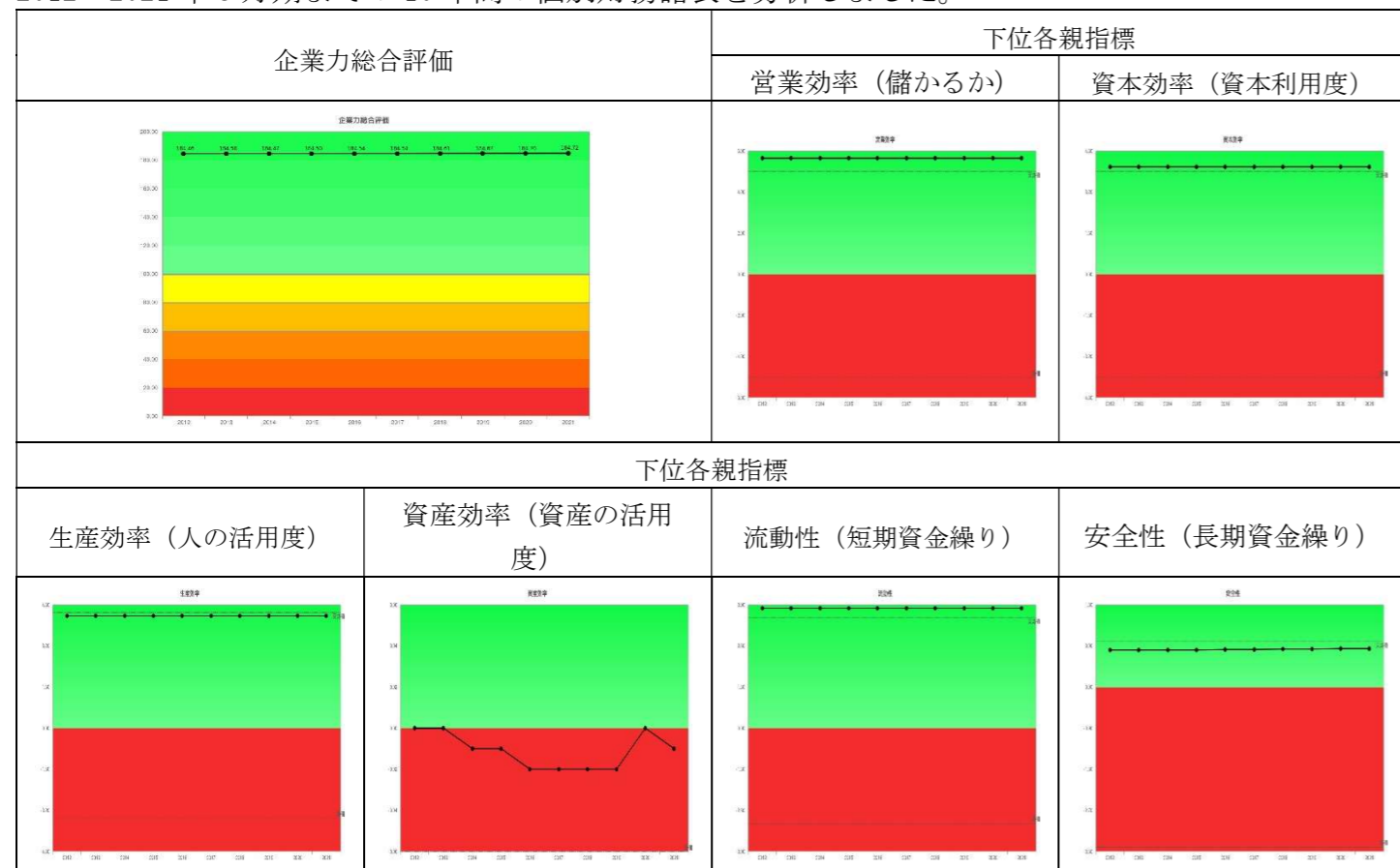


株式会社ワークマンは、作業着のみならず、カジュアルウェア、ファミリー衣料、履物等多彩な品ぞろえの店舗を、主として個人とフランチャイズ契約を締結し、また直営店として展開しています。高い機能性を求められる作業着で培った技術は、若い女性たちにも大人気です。

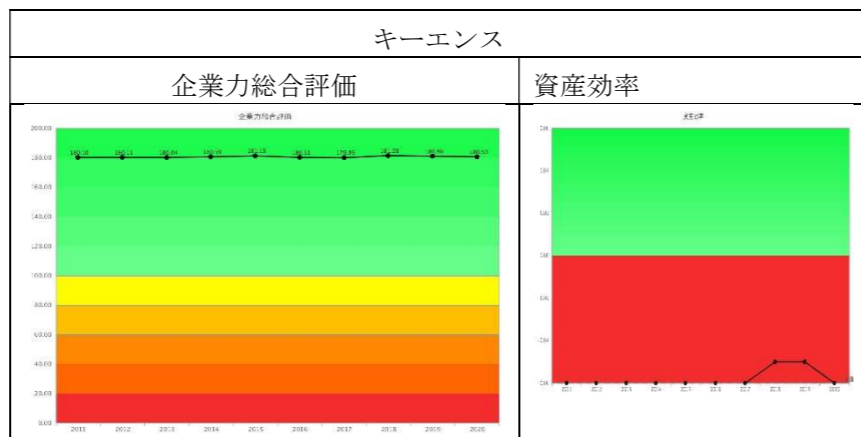
2012～2021年3月期までの10年間の個別財務諸表を分析しました。



企業力総合評価は、キーエンス越えをして10年真っすぐブレがありません。営業効率、資本効率、生産効率、流動性、安全性は全て天井値です。資産効率は赤信号領域ですが、利益剰余金の増加から資産増加が起こった結果と推察され、問題はありません。

キーエンスは資産効率が赤信号領域で底値をつけており、資産効率が企業力総合評価のキーエンス越えを決定したと言えます。キーエンスは1年の売上高の3倍の有価証券、投資有価証券、現金預金を保有していることが原因で、資産効率が底値であること、その結果、企業力総合評価が(株)ワークマンに負けているのです。資産効率をめぐる財務分析の限界と言えます。

天井値とは、各カテゴリーとして「合格です」ということですが、総合評価に、まとめ上げる為設け



られたものです。  
(株)ワークマンの凄いところは、天井値でも実は更に成長トレンドであるところなのです。

(株)ワークマンの営業効率・生産効率の下位指標を見てみましょう。営業効率も生産効率も、10年間伸びていますが、2014年から2017年にかけて、踊り場になっています。

このような数字を志向したことはありますか。実践した社長様はそれほど多くないでしょう。いつも企業の長期分析をしています。これほど長い踊り場の事例はありません。

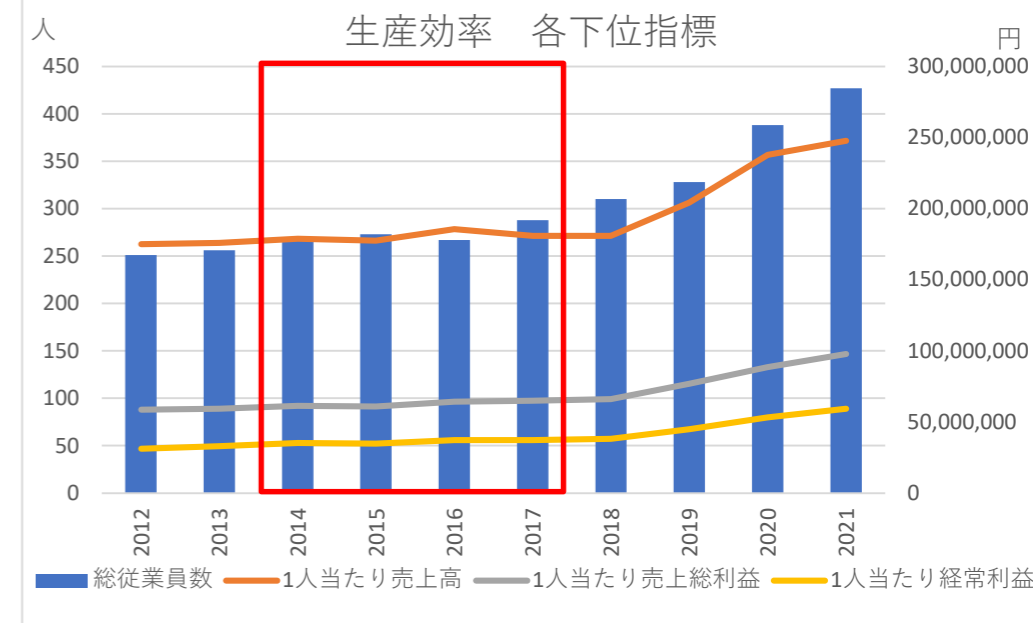
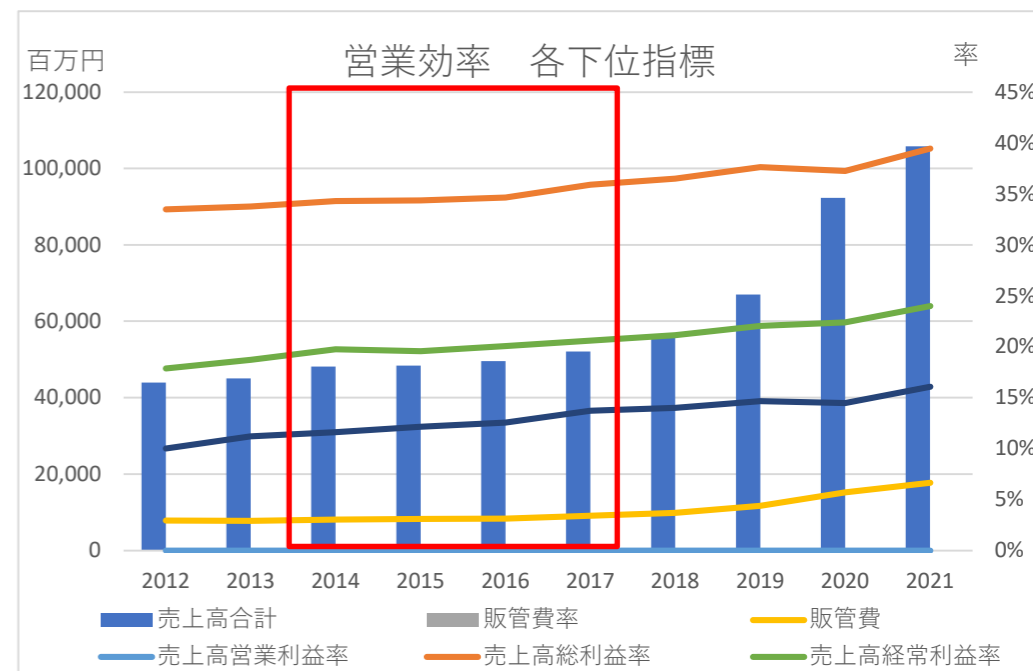
圧倒的な市場の支持を感じても、ビジネスモデルや商品を徹底的に磨く時間を持つこと、その重要性を示しています

この陰には、会社が、社員の意見の耳を傾け、社員は、お客様や、加盟店の声に耳を傾け、どうすれば、皆が喜んでくれるかを吸い上げ、考え抜いたと推察されます。

会社の有価証券報告書には、売り場面積当たりの売上高など、非会計データも開示されています。単に出店を増やして増収にしているのではなく、効率を上げて増収増益にしています。効率を上げるには家族経営のフランチャイジーには負担が重く、本部としてどうサポートするかを追求しているでしょう。

### まとめ

人間も会社も自分を見失うと辛くなります。自分を見失わない企業の代表選手のような会社です。他から得られる情報のみならず、自社の財務情報を見つめ直すことです。



**編集後記** 作業着会社として、徹底的に機能追求をしてきた強みが、実利を志向する現在の日本人に受け入れられました。 ♪(^.^)♪文責 JY

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-6-19 プロパレス安土町ビル7階D号 株式会社 SPLENDID21

tel 06-6264-4626 info@sp-21.com https://sp-21.com